

きのくにロボットフェスティバル・ 全日本小中学生ロボット選手権 参加にあたっての注意事項

2019年5月

きのくにロボットフェスティバル・全日本小中学生ロボット選手権は、子供達が科学技術立国日本を支える人材に育ててほしいとの願いから和歌山県内の各機関及び各地区予選会場の機関の協力により開催しています。

きのくにロボットフェスティバルは、関係自治体及び協力各団体からのご提供資金ならびにご支援、および実行委員や協力関係者の献身的な活動により開催・運営されています。いずれかが欠けても開催・運営をすることは困難です。ご協力いただいている皆様に心から感謝いたします。また、参加者は同じテーマに挑戦する仲間であるとも言え、運営する関係者、協力していただく関係者とともにきのくにロボットフェスティバルをつくりあげていく仲間でもあります。参加にあたっては、相互理解の上でお互いに敬意を持って活動してください。

1. 参加者と保護者・指導者の立場

きのくにロボットフェスティバル・全日本小中学生ロボット選手権は、ロボット製作を通じて「ものづくり」の楽しさ、大切さを感じてもらうことにより、将来「ものづくり」の担い手となる人材の育成を目指しています。そのため、参加者の自立的なロボットの開発を進められるよう、保護者や指導者は過度にならない程度の助言やアドバイス、補助に留めていただくようお願いします。

2. 予選会へのエントリー方法

全日本小中学生ロボット選手権の各地区予選会には、以下の方法によりエントリーを可能とします。ただし、複数の地区予選会へのエントリーはできません。

- ① 当該年度の各地区のロボット製作講習会に参加することで、そのまま予選会にエントリーが可能です。
- ② 当該年度の各地区のロボット製作講習会に参加しなくとも、過去の大会や講習会で使用したロボットが利用可能な場合や自分で購入した場合には、それをもって予選会にエントリーすることを可能とします。ただし、各地区の予選会へのエントリーの可否については各予選会の都合により変わりますので、詳細は各予選会（和歌山県内は複数の予選会がありますが、和歌山県教育委員会義務教育課が窓口となります）にお問い合わせ願います。

3. 決勝大会への準備について

- (1) 和歌山県御坊市で12月に開催される決勝大会への参加チームは、予選会後に大会事務局から送られる指定の登録用紙に必要情報を記載し、提出してください。
- (2) また、指定の期日までにロボットの特徴や工夫点をA3用紙1枚にまとめたアピールレポートを提出してください。

4. 個人情報の取扱い

競技参加およびアンケート等により収集した個人情報は、主催者である「きのくにロボットフェスティバル実行委員会」が管理し、大会運営や、より一層参加者の皆様のご期待に添うための資料として活用させていただくことがあります。収集した個人情報は大会運営以外には用いません。ただし、次年度以降に大会運営に関する意見を伺うアンケート等を送付させていただきますのでご承知おき願います。

5. 著作権及び肖像権

- (1) 決勝大会当日の参加チームの作成物について、その著作権の全てを主催者、共催者と参加チームで共有することとします。参加チームが提出したアピールレポート、ポスター類は、各会場にて掲示されるものとし、さらに翌年以降の参加チームへの参考情報として開示、配布できるものとします。また、主催者、共催者および協力団体などが学会、書籍、Web、セミナーなどで参加者の著作物を引用する場合があります。
- (2) 決勝大会当日の様子を、ビデオやカメラで撮影させていただきます。これら当日に撮影した写真・画像、ビデオ類は、主催者、共催者や大会協力者、各種メディア等においてホームページや記事、広告などの広報用、または参加チームの技術向上のために使用場合があります。作成いただいたロボットやプログラムにつきましても同様に扱わせていただきます。広報を行う場合には、参加選手・チーム名、所属、参加部門、地域までとし、それ以外の住所、電話番号等の情報については一切公開せず情報の漏洩のないように配慮いたします。

上記4及び5については、予選通過者に別途「個人情報及び肖像権の取扱い」を配布いたしますので詳しくはそちらを参照ください。

6. 相互協力、相互敬意の言動を

参加者は同じテーマに挑戦する仲間であるとも言え、運営するみなさん、協力していただくみなさんとともにきのくにロボットフェスティバルをつくる仲間でもあります。参加にあたっては、相互理解の上でお互いに敬意を持って活動しましょう。

敬意を持たない言動には注意がなされ、そのような言動が続く場合には、きのくにロボットフェスティバルへの参加を禁止する場合があります。

以上